

第3回富山市有機農業推進協議会次第

日時：令和5年11月14日（火）10時00分から
場所：営農サポートセンター会議棟1階大会議室

1 開 会

2 報告事項

- ・これまでの取組み状況について

資料1

3 意見交換

- (1) 富山市 CSA 型サポート組織について
情報提供

資料2

マーケティング・ブランディングとクラウドファンディングについて
オーガニックプロデューサー 松本直之 氏

- (2) 富山市有機農業実施計画（案）について

資料3

- (3) 今後の予定について

資料4

4 その他

第4回富山市有機農業推進協議会

令和5年 月 日（ ） 時から

資料1 これまでの取り組み状況

年度	月	日	内容	備考
令和5年	4	10	みどりの食料システム戦略推進事業補助金割当内示	10,000千円
		10	補助金交付申請及び交付決定前着手届提出	
		27	富山市有機農業実施計画策定支援業務委託契約	7,700千円
	5	8	○第1回富山市有機農業推進協議会	
		9	①実証ほ場設置	3ヶ所
		18	みどりの食料システム戦略推進事業補助金交付決定	10,000千円
	6	15	①有機米栽培機械作業実演会	市内農業者
	7	19	①有機えごま栽培講習会	市内農業者
		25	富山市有機農業実施計画策定支援業務委託変更契約	9,724千円
	8	2	①有機農業の意義及び事例に関する講演会	市内農業者
		4	①有機栽培事例研修及び農業者ワークショップ	市内農業者
		17	○第2回富山市有機農業推進協議会	
	10	16～	②えごま油飲用モニター及びアンケート調査	市体協力
	11	5	②ワンデージャックフェスタでの有機農産物出展及びアンケート	
		6～7	○先進地視察(兵庫県豊岡市)	
14		○第3回富山市有機農業推進協議会		

①:生産拡大の取組 ②:消費拡大の取組 ③:加工品開発の取組



有機農業推進協議会(5/8、8/17)



有機米栽培作業実演会(6/15)



有機えごま栽培講習会(7/19)



有機米生育状況
アイガモロボット使用
(土遊野)
10/2現在10/3収穫



有機米生育状況
みのる式除草機使用
(小原営農センター)
10/6収穫



えごま生育状況
無農薬・無化学肥料栽培
(山崎客土会)
10/16収穫

資料1 これまでの取り組み状況

えごま油飲用モニター及びアンケート依頼先

配布プログラム一覧

クラブ名	施設名	NO	プログラム名	定員	参加者	講師	曜日	時間
スポーツクラブ富山	総合体育館	1	美ボディ&シェイプ	50	32	1	月	11:00~12:00
		2	フレッシュスポーツ	30	22	1	火	13:20~14:50
		3	シルバー体操	40	37	1	火	9:30~11:00
		4	はつらつ体操	35	30	1	金	9:30~11:00
		5	遊悠元気塾(水)	45	29	1	水	9:30~11:00
		6	遊悠元気塾(木)	45	35	1	木	9:30~11:00
		7	遊悠元気塾(金)	30	29	1	金	11:00~12:30
PG小計				275	214	7		
東富山SC	東富山体育館	8	遊悠元気塾	25	21	2	火	13:30~15:00
PG小計				25	21	2		
2000年SC	2000年体育館	9	中高年ヘルシースポーツ	40	40	2	木	13:30~15:00
PG小計				40	40	2		
みなみSC	体育文化センター	10	遊悠元気塾	25	28	2	木	13:30~15:00
PG小計				25	28	2		
水橋身体SC	勤労身障者体育センター	11	遊悠元気塾	25	17	1	金	9:30~11:00
PG小計				25	17	1		
スポールおおやまクラブ	大山総合体育センター	12	遊悠元気塾	15	17	1	金	9:40~11:00
PG小計				15	17	1		
アルペンSC	市民球場	13	ソフトエアロビック	35	28	1	水	10:00~11:30
PG小計				35	28	1		
YAKIYAMA SC	アイザックススポーツドーム	14	遊悠元気塾	12	11	1	木	9:30~11:00
PG小計				12	11	1		
東富山温水プール		15	エンジョイアクアアウオーク	23	23	1	金	10:00~10:50
PG小計				23	23	1		
PG計				475	399	18		
所属長					17			
合計					434			



配布の様子

10/25 アルペンスポーツクラブ

配布しているえごま油

11/14現在 16PG 352本配布済み

依頼文は別紙

資料1 これまでの取り組み状況（別紙）

プログラム受講者の皆様

富山市農業水産課

富山市産えごま油の試飲とアンケートの協力について（お願い）

1 目的

富山市の農業は、農業者の高齢化や少子化の進行に伴う担い手不足や耕作放棄地の増加、農産物価格の低迷による所得の伸び悩みなど様々な課題に直面しています。

このため、市では、農協等と連携し、有機農業を切り口に、担い手不足の解消や有機 JAS 認証による付加価値の高い産地づくりを目指しています。

今回は、健康意識の高い受講者の皆さまに、無農薬・無化学肥料栽培の富山市内産えごま油を試飲してもらい飲用効果を体感いただき、リピーターを獲得することにより、富山市内産えごまの消費拡大と市民の皆様の健康を増進することを目的としています。

2 対象者

中高年健康づくりコースを中心としたプログラムの参加者とその講師 ※協力自由

3 お配りするえごま油

無農薬・無化学肥料栽培のおおば農協産えごま油（110g入り1本）

4 期間

本日から1日1回約2g（ティースプーン1杯）をお食事の時に併せてお取りください
概ね1か月後、このプログラム参加時にアンケートに回答のご記入をお願いします

5 アンケートの内容

別紙（案）のとおり

6 摂取方法や購入方法など

別紙 「試飲にご協力の皆様へ ～えごま油とは？～」 のとおり

7 その他注意事項など

※えごま油は「油」です。取り過ぎには注意してください。

※体に合わないと感じたときは直ぐに飲用をやめてください。

※人により異なりますが、早い方で飲用約1週間後に体の変化を感じられます。

（お問合せ）富山市農林水産部 農業水産課 園芸畜産係 山口
電話：076-443-2083 FAX：076-443-2185
メール：nougyouuisan@city.toyama.lg.jp

※概ね1か月後にお聞きする予定の項目です。内容は変更する場合があります

えごま油の飲用に関するアンケート調査のお願い(案)

富山市産えごま油を飲用した効果等について、皆さんの率直なご意見をお聞かせください。

<アンケート調査票>

問1 あなたご自身のことについて、次の項目ごとにお答えください。(〇はひとつ)

(1)性別	1 男性	2 女性	3 その他
(2)年齢	1 50代以下	2 60代	3 70代以上
(3)えごま油の これまでの飲用	1 初めて飲用した	2 以前に飲用したことがある	3 以前から継続して飲用している

問2 飲用についてお答えください。(〇はひとつ)

(1) 小さじ1杯(約2g)をどのくらいの頻度で飲用できましたか。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 毎日飲用できた | 2 概ね毎日飲用できた |
| 3 2日に1日程度飲用できた | 4 週に2~3回程度飲用できた |
| 5 あまり飲用することが出来なかった | 6 飲用することが出来なかった |

(2) えごま油を主にどのように飲用されましたか。

(例) みそ汁に入れた、牛乳に入れた 等

問3 どのくらいの効果を感じたか教えてください。(各項目で〇はひとつ)

効果	とても感じる	少し感じる	感じない
(頭) 頭がすっきりした	3	2	1
物忘れが少なくなった	3	2	1
(肌) 肌艶が良くなった	3	2	1
肌がしっとりした	3	2	1
肌荒れが軽くなった	3	2	1
髪の毛に張りがでてきた	3	2	1
(おなか) お通じが良くなった	3	2	1
胃の調子が良くなった	3	2	1
(足腰) 動きが軽くなった	3	2	1
腰や肩のこりが軽くなった	3	2	1
(体重) 減少した	3	2	1
下がりやすくなった	3	2	1
(血圧) 下がった	3	2	1
安定した	3	2	1

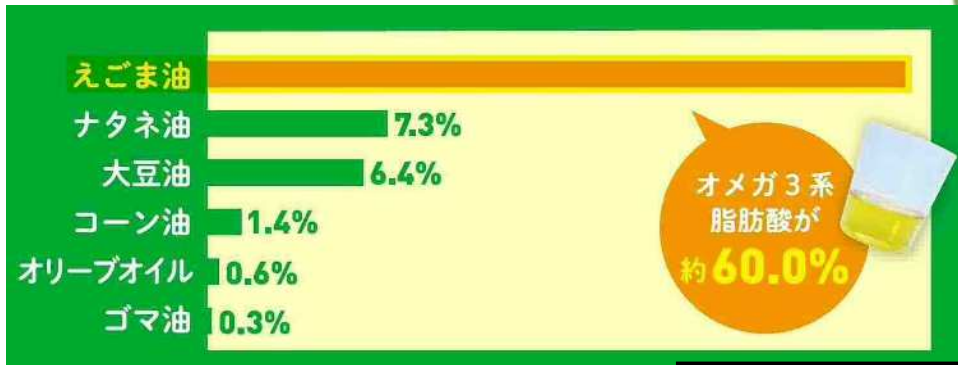
〇その他お気づきになった効果があればご記入ください。

問4 今後の飲用について、お考えをお聞かせください。(〇はひとつ)

- | |
|----------------------|
| 1 健康のために今後も購入して継続したい |
| 2 継続するかは分からない |
| 3 継続しようとは思わない |
| (その理由:) |

ご協力ありがとうございました。 問い合わせ先 富山市農業水産課 [TEL:076-443-2083]

試飲にご協力の皆様へ ～えごま油とは？～



オメガ3系脂肪酸は、体内で作ることができず、食品から摂取しなければならない「必須脂肪酸」に分類されています。オメガ3系脂肪酸は、炎症やアレルギーを抑える作用、脳の神経細胞の活性化、血栓生成防止など生活習慣病の予防に効果があると言われています。

えごま油

- ・抗アレルギー効果
- ・生活習慣病の改善効果
- ・血圧降下効果
- ・抗うつ効果 など

摂取量は1日およそ2グラム ※厚生労働省推奨値

イワシなら



1日**2尾** (刺身など生食の場合)

エゴマ油なら…



1日**小さじ1杯**程度

少量で効果大!



POINT えごま油は加熱 NG!

えごま油は熱に弱く、酸化しやすい特性を持っています。加熱調理以外の方法で使うことをおすすめします。

- ✓ 加熱すると栄養価が失われてしまいます。
- ✓ サラダのドレッシングとして他の調味料と併用して使うと栄養価もアップします。
- ✓ 料理のトッピングとして後がけすると風味豊かになります。

担当者お勧めの取りかた

いつもの味噌汁や牛乳、ヨーグルトに
食後のコーヒーに
サラダのドレッシングに
パンや Pasta、ピザに

+ 1日1回、小さじ1杯のえごま油を直接かけて

富山えごまはこんなところで作られています！



えごまの花



植付作業

大沢野地域（西塩野地区）



中耕培土（除草）作業



山田地域（清水地区）



八尾地域（河西地区）

110g入り 1,800円（税込み）

ここで買えます！



あおば農協各営農経済センターのほか、
・みのり館（大沢野）・ほほえみ館（婦中）
・地場もん屋総本店・なのはな農協直売所
・富山市農協直売所などで購入可能
あおば農協HPからネットでも購入可能
（※ネット販売はドレッシングとのセットのみ）

有機農産物に関する消費者ニーズアンケート調査結果

調査方法: イベント出店における対面調査

調査期間: 2023年11月5日(日)

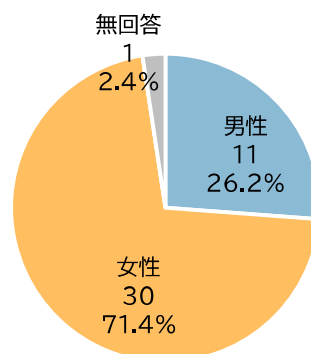
回答数: 42票

問1 あなたご自身のことについてお答えください。(〇はひとつ)

(1) 性別

「男性」が26.2%、「女性」が71.4%となっている。

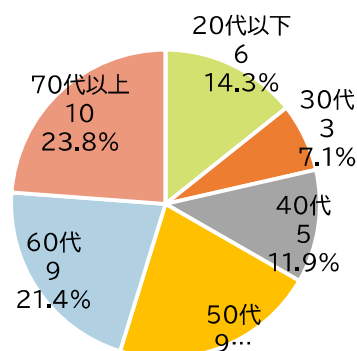
	回答数	割合
男性	11	26.2%
女性	30	71.4%
回答しない	0	0.0%
無回答	1	2.4%
合計	42	100%



(2) 年齢

「70代以上」が23.8%、「50代」「60代」が21.4%となっている。

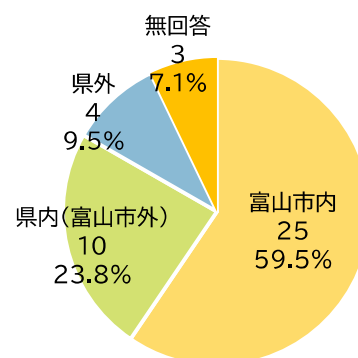
	回答数	割合
20代以下	6	14.3%
30代	3	7.1%
40代	5	11.9%
50代	9	21.4%
60代	9	21.4%
70代以上	10	23.8%
無回答	0	0.0%
合計	42	100%



(3) 居住地

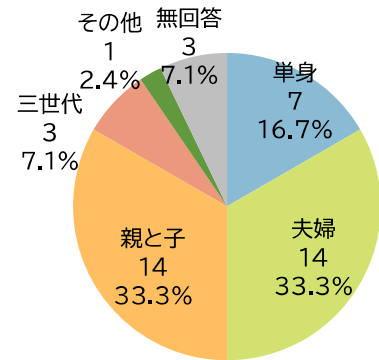
59.5%が「富山市内」在住となっている。

	回答数	割合
富山市内	25	59.5%
県内(富山市外)	10	23.8%
県外	4	9.5%
無回答	3	7.1%
合計	42	100%



(4) 家族構成
「夫婦」「親子」が33.3%となっている。

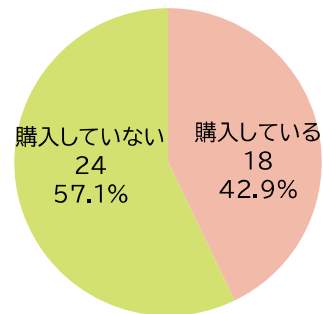
	回答数	割合
単身	7	16.7%
夫婦	14	33.3%
親子	14	33.3%
二世帯	0	0.0%
三世帯	3	7.1%
その他	1	2.4%
無回答	3	7.1%
合計	42	100%



問2 普段から有機農産物を購入していますか(どちらかに○)。また、その理由をお聞かせください。

「購入していない」が57.1%となっている。

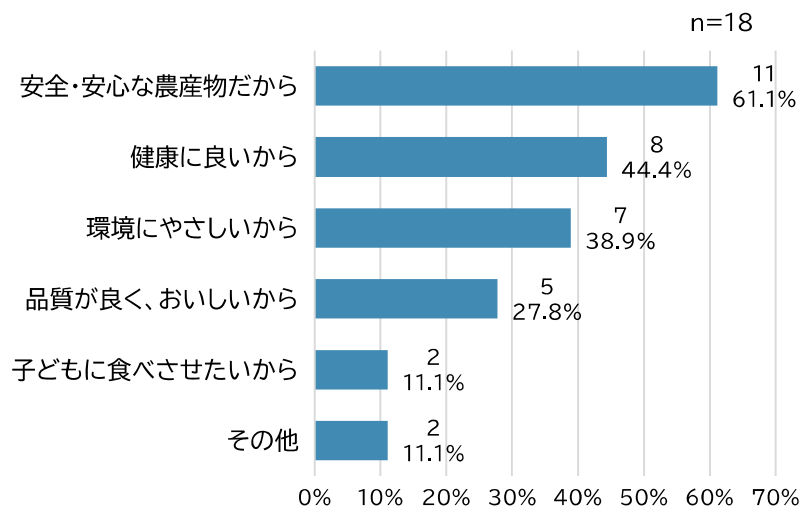
	回答数	割合
購入している	18	42.9%
購入していない	24	57.1%
無回答	0	0.0%
合計	42	100%



2-1 購入している理由(当てはまるものすべてに○)

「安全・安心な農産物だから」が最も多く61.1%、次いで「健康に良いから」が44.4%となっている。

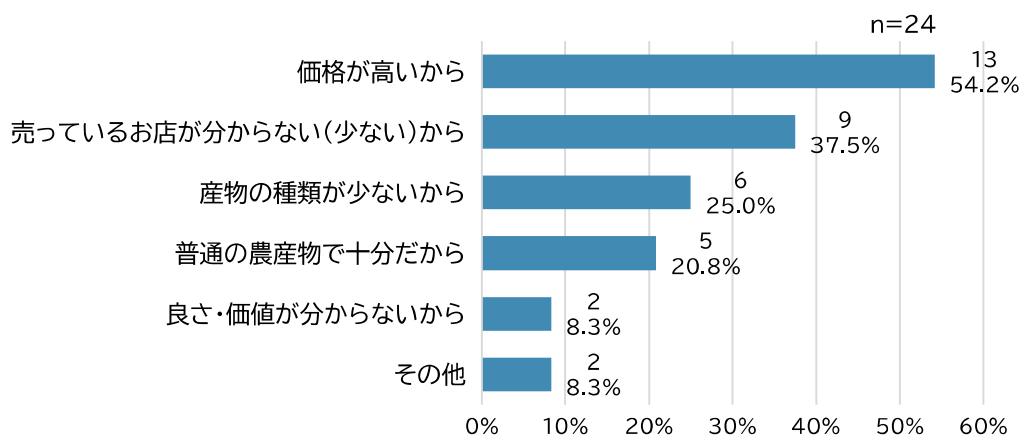
	回答数	割合
安全・安心な農産物だから	11	61.1%
健康に良いから	8	44.4%
環境にやさしいから	7	38.9%
品質が良く、おいしいから	5	27.8%
子どもに食べさせたいから	2	11.1%
その他	2	11.1%



2-2 購入していない理由(当てはまるものすべてに○)

「価格が高いから」が最も多く54.2%、次いで「売っているお店が分からない(少ない)から」が37.5%となっている。

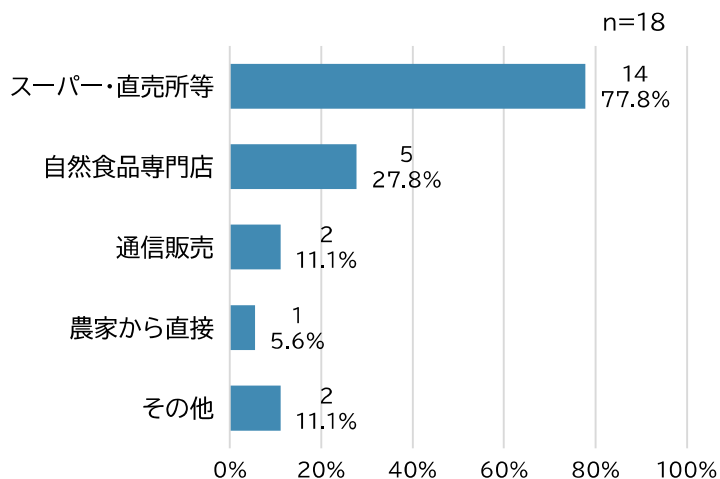
	回答数	割合
価格が高いから	13	54.2%
売っているお店が分からない(少ない)から	9	37.5%
産物の種類が少ないから	6	25.0%
普通の農産物で十分だから	5	20.8%
良さ・価値が分からないから	2	8.3%
その他	2	8.3%



問3 どこで有機農産物を購入しますか。(当てはまるもの全てに○)

「スーパー・直売所等」が最も多く77.8%、次いで「自然食品専門店」が27.8%となっている。

	回答数	割合
スーパー・直売所等	14	77.8%
自然食品専門店	5	27.8%
通信販売	2	11.1%
農家から直接	1	5.6%
その他	2	11.1%

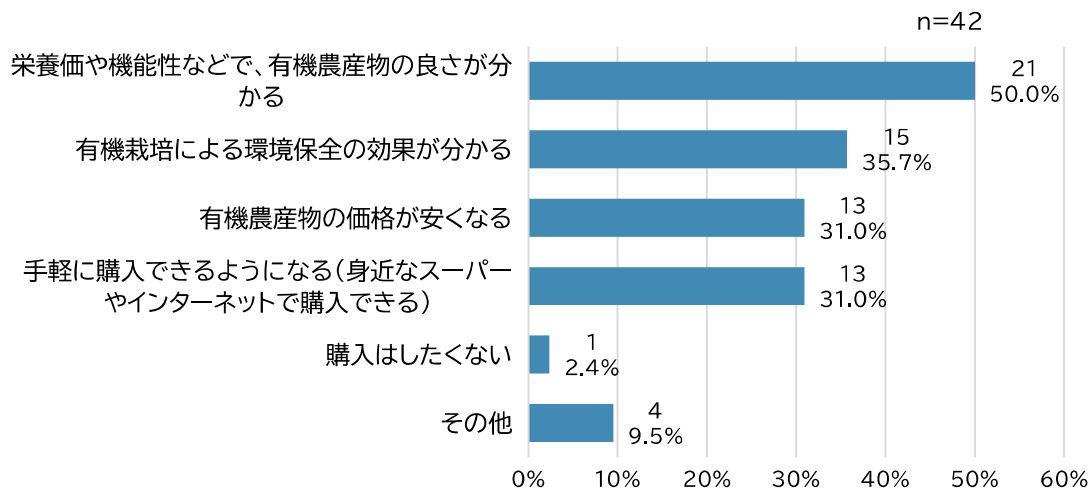


問4 今後、有機農産物を購入したくなる理由があればお聞かせください。(当てはまるもの全てに○)

「栄養価や機能性などで、有機農産物の良さが分かる」が50.0%となっている。

n=42

	回答数	割合
栄養価や機能性などで、有機農産物の良さが分かる	21	50.0%
有機栽培による環境保全の効果が分かる	15	35.7%
有機農産物の価格が安くなる	13	31.0%
手軽に購入できるようになる(身近なスーパーやインターネットで購入できる)	13	31.0%
購入はしたくない	1	2.4%
その他	4	9.5%



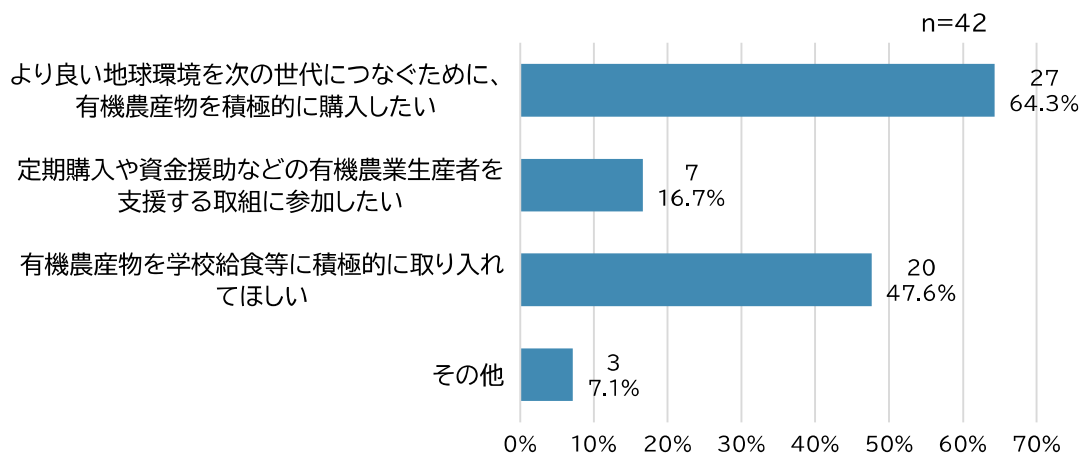
問5 富山市では、環境にやさしく、持続可能な農業への取組として、有機農産物の生産拡大を目指しています。

この取組について、あなたのお考えをお聞かせください。(当てはまるもの全てに○)

64.3%が「より良い地球環境を次の世代につなぐために、有機農産物を積極的に購入したい」となっている。

n=42

	回答数	割合
より良い地球環境を次の世代につなぐために、有機農産物を積極的に購入したい	27	64.3%
定期購入や資金援助などの有機農業生産者を支援する取組に参加したい	7	16.7%
有機農産物を学校給食等に積極的に取り入れてほしい	20	47.6%
興味がない・取組む必要はない	0	0.0%
その他	3	7.1%



問6 有機農業や有機農産物のイメージについて、ご自由に記入してください。

自由意見	年代	購入の有無
今の食生活で満足しているので、あまり興味がない	20代以下	購入していない
健康によい	20代以下	購入していない
安心安全だからです	20代以下	購入していない
これからの農業は有機だと思うので頑張って欲しいです	30代	購入していない
身体に良さそう	40代	購入していない
身体にやさしい。安心安全	50代	購入していない
特別なもの、というイメージでしたが、古来からのやり方に戻って欲しいと思います。自分でも出来ることならやってみたい気持ちもあります。	50代	購入している
安全で体に良い	50代	購入していない
安いといいです	50代	購入していない
もっと安くなるといいです	50代	購入している
野菜くずなど捨ててしまいます物もたいひと使用し、環境に優しく、微生物も育て、土も元気になる	60代	購入している
良いことと思いますが、時間と手間がかかります。その分高くなります。それを知って買えるかどうかと思います。	60代	購入していない
価格が少し高いイメージです	60代	購入していない
自然と人にやさしい	60代	購入している
値段が高いとイメージがありますが、色んな所での販売をして買いたと思います。試食もかねて…	60代	購入していない
からだによいということと安全だからとり入れています	70代以上	購入している
健康によさそう	70代以上	購入している
将来の農産物として可能性が高い。生産性もあると思う。	70代以上	購入していない
自然に良いものを使っている。少し高い。	70代以上	購入していない
安心安全な食物	70代以上	購入している

資料1 これまでの取り組み状況 有機農業取組拡大先進地視察研修会 開催概要

■視察①：豊岡市内農業者及び JA たじま、豊岡農業改良センターとの意見交換

日時：2023年11月6日(月) 15時～17時

場所：豊岡市役所本庁舎2階食堂



■視察②：豊岡市との意見交換

日時：2023年11月7日(火) 9時30分～11時30分

場所：市立コウノトリ文化館



<意見交換の主な内容>

視察①

- ・豊岡市、兵庫県、JA たじまが三位一体となって普及活動を進めている。
- ・コウノトリ育む農法の技術は兵庫県が指導や研修会を行っている。
- ・JA では資材調達や部会等の組織運営をサポートしている。決まった価格で買い上げていることもあり、生産されたお米の大多数はJAに出荷されている。
- ・県内での消費は少なく市外が主。関西、沖縄が多い
- ・付加価値を分かってもらえる販売先等の出口戦略が一番大事ではないか。

視察②

- ・学校給食の価格はJAと折り合いを付けながら決めている。子供たちへ安全安心を届けるといった思いも大事だが、価格、収益を確保することも必要である。
- ・豊岡市の場合はコウノトリが生息できる環境を作るといった思いに共感した生産者にまずは取組んでもらって、そこから有機農業が広がった。
- ・県がチャレンジ事業として機械に2/3を補助することで、大規模農家が参入した。
- ・今後、兼業農家が参入できる有機農業の形を模索している。

資料2 富山市CSA型サポート組織について

○設立時期

2028年度末(令和10年度末)を目標に設立を目指す。それまでは、富山市有機農業推進協議会にて検討を重ねる。

○経営理念(案)

農業は、様々な生き物の生育・生息に重要な役割を果たしており、自然と深く関わっている。この農業を持続可能なものにするため、SDGs未来都市である本市で環境に配慮した有機農業を推進し、人と命の繋がりを大切に、豊かな自然をより良く、中山間地域を中心とする農村部の地域づくりを行いながら、次の世代に引き継ぐことを理念とする。

<サポート組織の役割(案)>

1. 資金の調達(組織運営の核となる部分)

- 使途は、有機農業を始めるための初期投資、価格補償等に充当
- 賛同する大都市等の企業や消費者から、クラウドファンディングにより資金を調達
- 賛同する地域内の消費者や小売業者、企業から資金調達
(Community Supported Agriculture)
- 配当(見返り)は、有機農産物や体験等の提供

2. 有機農業の機運づくり

- 有機農業のメリットを提示
- 地域全体(各関連機関)での取組みを明確化
- 各種補助制度の紹介(有機転換等)
- 有機モデル地区(小学校区単位等)の設定

3. 有機農業技術・経営の普及

- 栽培情報の提供、技術研修会の開催、栽培指導
- モデル経営の栽培体系の紹介、有機農業経営の採算性についての紹介
- 栽培基準の標準化と栽培マニュアルの作成・配布
- 圃場の団地化・エリア化協議への助言・指導、周辺農家の理解醸成

4. 有機農業機械・施設・作業サポート

- 有機資材(堆肥等)提供のための調整
- 作業員の斡旋(○営農サポーターの派遣は即時対応可能)
(野菜栽培や収穫後調整過程等に対し、作業サポート会社・農福連携事業所等の紹介)
- 機械作業受委託の調整
- 有機機械の貸付、個別乾燥機の斡旋

5. 出荷・販売・販路拡大サポート

- 販売情報の提供
- 輸出等を含めた販路の開拓
- 農産物の委託販売(市内の販売先との価格交渉、ネット販売の仲介)

6. 新規就農者(新規取組経営体含む)の受け入れや養成

- 新規就農者募集の広報
- 生産農場研修の場の設定
- 居住場所の斡旋
- 独立時の農地紹介

(○:短期的役割 ●:中長期的役割)

<サポート組織運営時に期待する役割>

有機JAS認証取得農家

(短期的役割)

先進的経営体(モデル経営体)としての本市有機農業の広報
新規就農希望者、有機農業取組希望者の受け入れ、指導など

(中長期的役割)

→有機農産物生産者グループ(環境保全型農業直接支払の受け皿)の中心経営体

農業協同組合

(短期的役割)

農家への環境にやさしい農業の取組拡大の周知

有機JAS認証取得の推進、広報

(中長期的役割)

→有機農産物の集荷、販売、学校給食利用時の物流(炊飯委託業者等への運搬)

→栽培マニュアルの策定・農家への周知

→環境効果の見える化表示の検討

市場流通事業者

(短期的役割)

環境にやさしい農業で生産された農産物の市場規模の情報収集と情報提供

有機JAS認証取得農産物の市場規模等の情報収集と情報提供

(中長期的役割)

→有機農産物の市場開拓、有機農産物の取り扱い

富山市

・教育部門

(短期的役割)

有機米、えごま等の定期的利用

(中長期的役割)

→有機食材の利用拡大の検討(予算確保)

・環境部門

(短期的役割)

有機えごま等の消費拡大PR

(中長期的役割)

→有機えごま等のPR及び海外を視野に入れた環境にやさしいJAS商品の販路開拓

・農業部門

(短期的役割)

事業全体の進捗管理、予算確保

富山市有機農業実施計画の策定と実行

(中長期的役割)

→富山市有機農業実施計画の進捗管理(予算確保)など

富山県

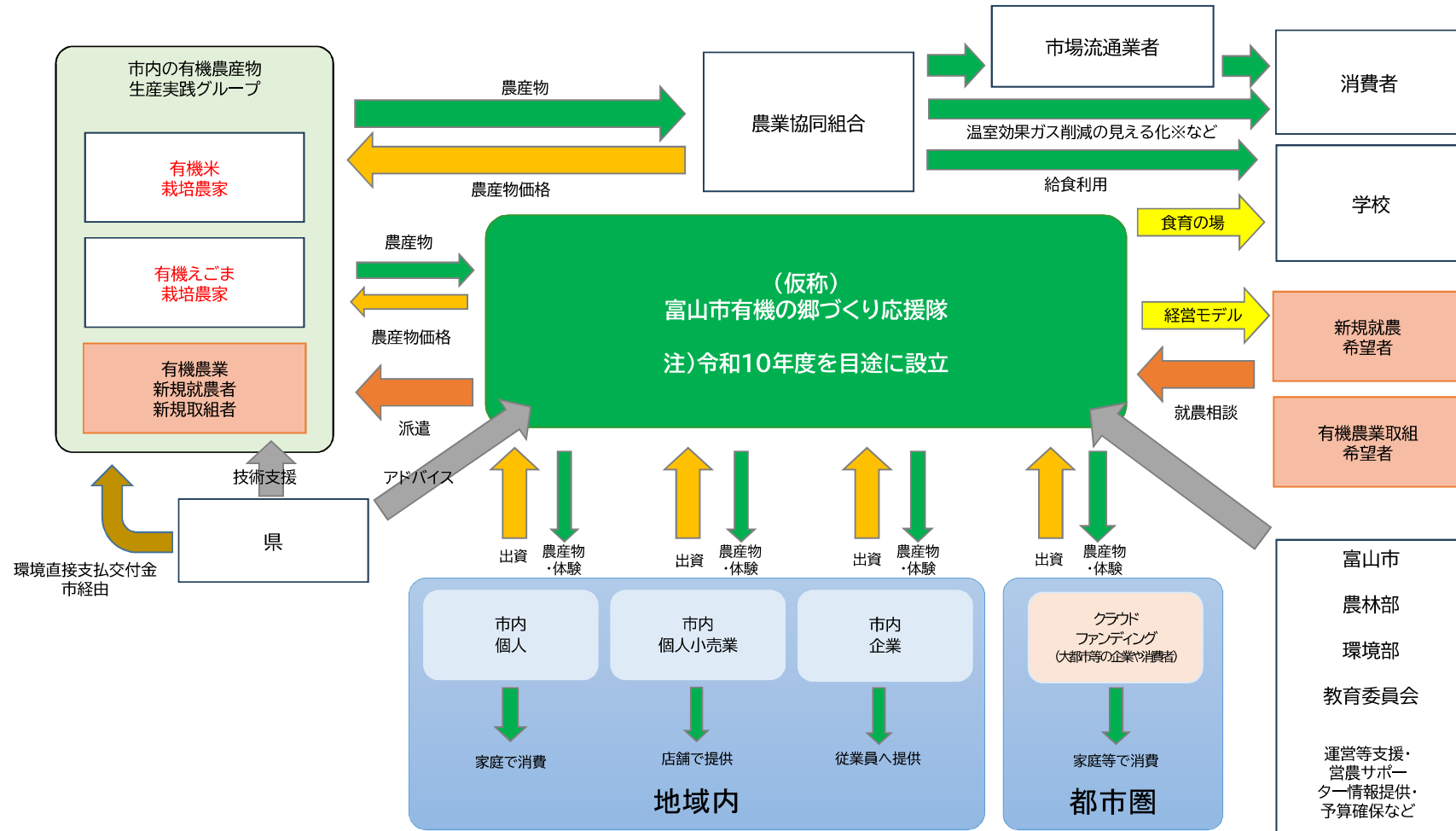
運営に対するアドバイス、県レベルでの有機農業広報、販路拡大支援

有機農業実践のための技術指導・支援

学識経験者

事業運営に対する助言、会長としての意思決定

資料2 富山市CSA型サポート組織について



「クラウドファンディングも活用した富山市CSA型サポート組織」のイメージ

サポート組織について

- ・運営の主体と内部の体制？
- ・クラファン・CSAのニーズ？
- ・採算性？
- ・事例の有無？



情報収集・関係者との協議・検討が必要

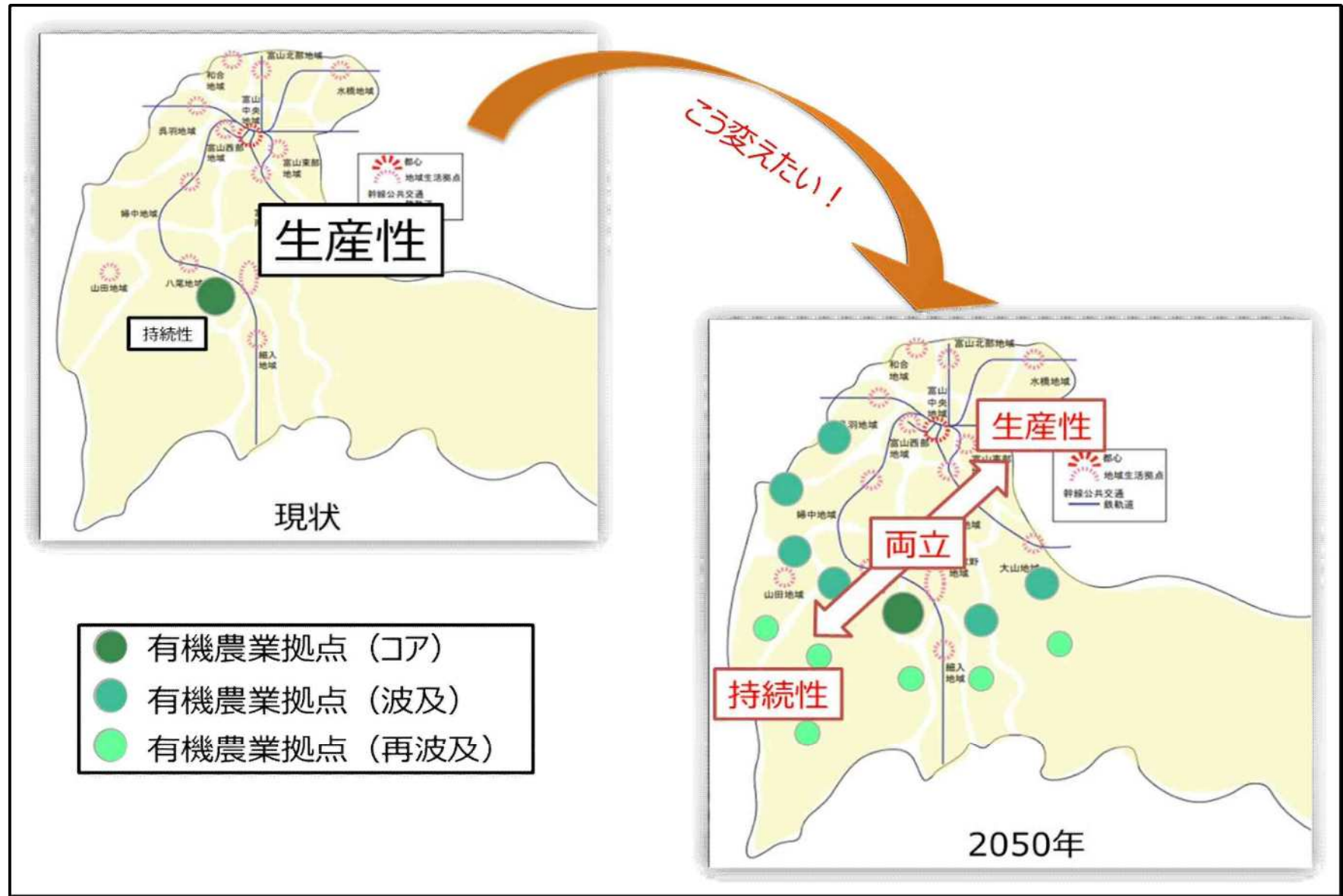


温室効果ガス削減の見える化ラベル(農林水産省)

富山市有機農業実施計画(案)

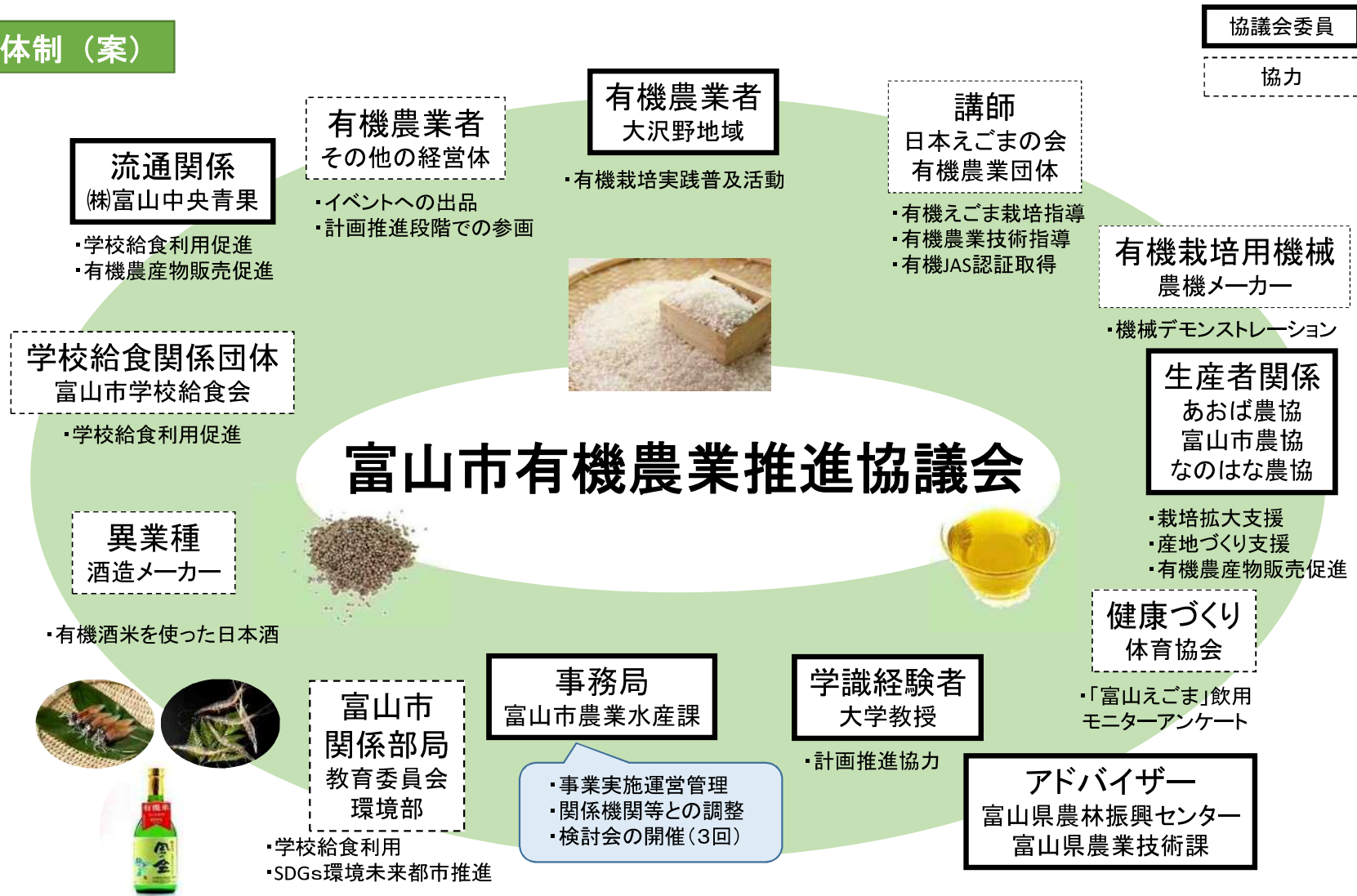
1. 市区町村
富山市
2. 計画対象期間
令和 6年度 ～ 令和 10年度
3. 対象市区町村における有機農業の現状と5年後に目指す目標
<p>ア 有機農業の現状</p> <p>本市の農林水産業は、富山湾から標高 3,000メートル級に及ぶ雄大な山々までの多様な地形から水稲を中心とした豊かな農林水産物が生産されている一方で、従事者の高齢化や少子化の進行による後継者不足、耕作放棄地の増加、農産物価格の低迷による所得の伸び悩みなど様々な課題に直面しており、特に中山間地域等では有害鳥獣被害も加わりその傾向が顕著になっている。</p> <p>その状況の中、本市を流れる神通川左岸の大沢野地域小羽地区では、2つの法人により水稲を中心とした有機農業が盛んに取り組まれており、本市における有機農業のモデル的経営体となっている。</p> <p>また、中山間地域をエリアに多く含むあおば農協管内では、有害鳥獣被害の少なさとその効能から有機エゴマの特産化を目指している。</p> <p>本市では、こうした動きに対応し、IoT 技術を活用したスマート化の推進や、エゴマの栽培支援に加え、耕作放棄地の畑地化によるエゴマ栽培の面積拡大、富山えごまとしてのブランディングや6次産業化の推進を担い、生産者や流通、加工、販売まで地域ぐるみで取り組んできている。</p> <p>イ 5年後に目指す目標</p> <p>現在大沢野地域で盛んな有機農業を核(コア)として、その取り組み事例を市内農業者へ発信することにより、主に中山間地域で米とえごまで有機農業を波及、拡大させ、慣行農業と有機農業がバランス良く展開し、生産性と持続性が両立した富山市の農業を目指す(図:推進イメージ)。</p> <p>有機JAS取組面積拡大 R3: 68.8ha→R10: 75.8ha(+7ha) 米 68.8ha→ 70.8ha(+2ha) えごま 0ha→ 5.0ha(+5ha)</p> <p>有機JAS取組み農業者の増加 R3: 5人→R10: 8人(+3人) 米 5人→ 6人(+1人) えごま 0人→ 2人(+2人)</p> <p>有機えごま販売数量(実換算) R3: 0kg→R10:1,500kg</p>
3. 取組内容
<p>ア 有機農業の生産段階の推進の取組</p> <p>①富山市CSA型サポート組織の検討</p> <p>農業は、様々な生き物の生育・生息に重要な役割を果たしており、自然と深く関わっている。この農業を持続可能なものにするため、SDGs未来都市である本市で環境に配慮した有機農業を推進し、人と命の繋がりを大切に、豊かな自然をより良く、農村部の地域づくりを行いながら、次の世代に引き継ぐことを理念とする(仮称)富山市有機の郷づくり応援隊の設立について検討を進め、令和10年度を目途に設立する。</p> <p>②有機米・有機えごま栽培技術研修会</p> <p>慣行農法の農業経営体に対する栽培技術研修会を開催し、取り組む際の不安軽減を図る。</p> <p>③有機JAS認証取得勉強会の開催と取得経費への支援</p> <p>えごま栽培が盛んなあおば農協管内の農業者を対象とし有機JAS認定の意義や取得までの流れについて勉強会を開催し、有機JAS認定取得に向けた機運の醸成と、計画実施段階での支援策を検討する。</p> <p>イ 有機農業で生産された農産物の流通、加工、消費等の取組</p> <p>①既存イベントへの有機農産物の出品</p> <p>本市が行っているイベントにおいて、有機農産物を出品し、市民に有機農産物をPR販売する。</p> <p>②有機米等の学校給食利用</p> <p>有機米や特産化を目指す富山えごまを学校給食で利用し、子供たちやその保護者等に取り組みの重要性をPRする。</p> <p>③「富山えごま」市民モニター飲用アンケート</p> <p>健康に対する意識の高い市民等に対し、えごま油を配布・飲用してもらい、リピーターの獲得を図る。</p> <p>④加工品開発</p> <p>本市の特徴である美味しい水とこだわりの有機酒米を用いた日本酒を開発し、新たな特産品の創出を図る。</p>

4. 取組の推進体制
<p>ア 実施体制図</p> <p>※実施に必要な組織、委託先等を記載すること</p> <p>別紙のとおり</p> <p>イ 関係者の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山市 有機農業実施計画の実施に必要な事務及び農業者への支援 ・富山県 事業遂行への協力・アドバイス等 ・富山市有機農業推進協議会 有機農業実施計画の実施に必要な検討・助言 ・有機農業者 有機農業の生産拡大に係る取組の試行・実施 ・農業協同組合 有機農産物の販売取扱いや有機農業を含む環境にやさしい農業の推進 ・流通業者 有機農産物の販売取扱いによる環境保全に対する理解の向上と有機農業のPR ・富山市内の学校 学校給食へ有機農産物の導入による食育の推進 ・加工業者 有機農産物の取扱いによる環境保全に対する理解の向上と有機農業のPR ・消費者 えごま油飲用体験による有機農業の普及・啓発 有機農産物の購入による環境保全に対する理解の向上と有機農業のPR
5. 資金計画
<p>別紙のとおり</p>
6. 本事業以外の関連事業の概要
<p>有機転換事業</p>
7. みどりの食料システム法に基づく有機農業の推進方針について
<p>※基本計画と本実施計画との関連性等必要に応じて記載すること</p>
8. その他(達成状況の評価、取組の周知等)



図：富山市による有機農業の推進イメージ

実施体制（案）



5 資金計画

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
区分	1. 生産段階 2. 流通、加工、消費等 8,000 千円	1. 生産段階 2. 流通、加工、消費等 8,000 千円	1. 生産段階 2. 流通、加工、消費等 8,000 千円	1. 生産段階 2. 流通、加工、消費等 8,000 千円	1. 生産段階 2. 流通、加工、消費等 8,000 千円

3の取組内容に対応した年度ごとに記載してください

(資料4) 今後の予定

令和5年11月23日(木)	里山交流マルシェ出店・消費者アンケート調査
令和5年11月24日(金)	えごま油モニター配布終了アンケート調査順次
令和5年12月4日(月)～	有機米及びあおば農協産えごまの学校給食実施 詳細は別紙参照
令和5年12月中旬	有機JAS認証取得勉強会
令和6年1月中旬	羽咋市視察
	有機米を用いた日本酒等の加工ニーズ調査
令和6年2月中旬	第4回富山市有機農業推進協議会
令和6年3月末	富山市有機農業実施計画策定とオーガニックビレッジ宣言
令和6年4月以降	富山市有機農業実施計画の推進

有機米給食必要量及び納入先

区分	納品先	納入住所等	kg	袋	納品日
委託炊飯校	高田食糧（株）	富山市上赤江町2丁目3-15（炊飯工場）	890	89	11月24日
自校炊飯校	古沢小学校	調理室	10	1	11月24日
自校炊飯校	池多小学校	調理室	10	1	11月24日
自校炊飯校	水橋東部小学校	調理室	10	1	11月24日
自校炊飯校	船岬小学校	調理室	10	1	11月24日
自校炊飯校	福沢小学校	調理室	10	1	11月24日
自校炊飯校	小見小学校	調理室	10	1	11月24日
自校炊飯校	速星幼稚園	調理室	10	1	11月24日
小 計			960	96	
委託炊飯校	皆口製パン	富山市八尾町館本郷1317	420	42	11月27日
自校炊飯校	檜尾小学校	調理室	10	1	11月27日
自校炊飯校	朝日小学校	調理室	10	1	11月27日
自校炊飯校	音川小学校	調理室	10	1	11月27日
自校炊飯校	神通碧小・楡原中学校	調理室	20	2	11月27日
小 計			470	47	
委託炊飯校	ライス栄研	富山市田畑850	1,220	122	11月29日
小 計			1,220	122	
合 計			2,650	265	

えごま種必要数量及び納入先

	納入場所	必要数(g)	パック数 (100g/パック)
給食センター	南学校給食センター	1338	14
	北学校給食センター	1268	13
小学校	芝園小・中	133	2
	西田地方	71	1
	中央	86	1
	柳町	34	1
	桜谷	57	1
	五福	76	1
	奥田	105	2
	奥田北	90	1
	東部	106	2
	新庄	131	2
	新庄北	125	2
	藤ノ木	229	3
	岩瀬	24	1
	針原	30	1
	浜黒崎	22	1
	大広田	76	1
	広田	72	1
	神明	38	1
	堀川	125	2
	堀川南	179	2
	光陽	99	1
	山室	116	2
	山室中部	110	2
	蛭川	152	2
	太田	39	1
	菘浦	61	1
	熊野	62	1
	月岡	54	1
	新保	74	1
	四方	24	1
	八幡	19	1
	草島	26	1
	倉垣	37	1
	呉羽	121	2
	長岡	34	1
	寒江	19	1
	老田	35	1
	古沢	12	1
	池多	13	1
	水橋中部	34	1
	水橋西部	32	1
水橋東部	12	1	
三成	38	1	
大沢野	91	1	
大久保	98	1	
船嶺	13	1	
上滝	22	1	
大庄	49	1	
福沢	9	1	
小見	5	1	
八尾	56	1	
杉原	63	1	
保内	41	1	
檉尾	8	1	

	速星	136	2
	鵜坂	161	2
	朝日	20	1
	宮野	71	1
	古里	42	1
	音川	17	1
	神保	55	1
	山田小・中	24	1
	神通碧小・楡原中	22	1
中学校	八尾	121	2
	城山	75	1
幼稚園	速星	9	1
	68	6848	109